

# 出張報告

報告日 2023年 8月 18日

会派名	暮らしと笑顔
報告者氏名	池野里美
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究 ( <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 ) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	行政視察研修会
日時	令和5年8月18日(金)10:00 ~ 令和5年8月18日(金)11:00
場所 (会場)	南魚沼市民会館・研修室
調査項目等	南魚沼市の教育委員会に配属されているSSW(スクールソーシャルワーカー)についての調査
概要	<p>行政視察研修会次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>開会 (進行: 南魚沼市議会事務局■■■■様)</li> <li>南魚沼市歓迎あいさつ 南魚沼市議会事務局■■■■様 <ul style="list-style-type: none"> <li>南魚沼市の紹介。ふるさと納税が右肩上がり、返礼の8割は南魚沼産のコシヒカリ。</li> <li>長岡技大と官民学連携し、雪を使った勉強会を開始。</li> </ul> </li> <li>柏崎市議会 池野よりあいさつ</li> <li>調査事項 市教育委員会に所属しているSSW(スクールソーシャルワーカーについて) 説明員: 南魚沼市教育委員会学校教育課■■■■様 <ul style="list-style-type: none"> <li>SSWを教育委員会へ配置するに至った経緯</li> <li>現在のSSWの所持資格、雇用形態や雇用時間、予算について</li> <li>SSWを採用してからの変化と課題</li> <li>SSW利用までの流れや手続き方法</li> <li>SSW活用件数の推移</li> <li>質疑応答</li> </ul> </li> <li>閉会のあいさつ (柏崎市議会 池野よりお礼)</li> <li>閉会</li> </ol>



所 感 等

南魚沼市では、平成 29 年度より教育委員会へ SSW を配置。当時、小学校高学年からの不登校の発生、中学校における新規不登校の増加、不登校の長期化などの課題があった。また、不登校及び、不登校傾向の要因や背景が複雑化し、学級担任(学校)だけでは解決が難しい深刻な事案が増加。これらの解決のためには、ケースに応じて福祉や医療の専門家と連携を図るなど、学校以外の協力を得ていく必要があった。そこで、当時の教育長の判断で、福祉の専門家として幅広い知見を有する SSW を教育委員に配置し、ケースに応じて専門機関と連携して問題解決する体制を整えた。

学校教育課に SSW を配置することで、状況を一元化し継続的にケース管理できるようになり、また、SSW が相談者に直接かかわることで、社会福祉の観点から子どもを取り巻く環境に具体的に働きかけることができるようになったなど変化があり、とても助かっているとのこと。

子どもの異変に気付けるのは学級担任や学校。何か問題が起こった時にすぐに学校から相談しやすくするため、窓口を学校教育課へ一本化。まずは、教育相談担当の指導主事が相談を受け、SSW を派遣依頼したり、関係機関へ連絡したり調整。

継続して支援している児童生徒や保護者、関係機関等から SSW へ直接連絡が入ることもあり、緊急性がある場合は SSW の判断で家庭訪問したり、漫談したり、迅速に対応する体制を整えている。

SSW の■■さんは、社会福祉士の国家資格を有する SSW で、会計年度任用職員としての雇用。1 日 7.5 時間、4 週に 12～13 日というフレキシブルな勤務体制。現在の SSW は県の高校 4 校の SC も兼務し、そのほかの活動も行っているため、本人の働き方に合わせた勤務体制での雇用となっている。

柏崎市でも不登校や自殺ほのめかしなど、子どもたちからの SOS に学校が気づいても、家庭環境の複雑さなどから対応が困難な場面が増えていると耳にしている。学校現場から相談をしやすく、子どもたちのためにいち早く対応できるような仕組みを柏崎市の教育委員会内にも出来るよう働きかけていきたい。